

地域学校



協働活動

有償ボランティア募集中



地域学校協働活動とは「学校が必要とする活動」と「地域の力」をマッチングして、地域ぐるみで子どもを育てる取り組みです。

あなたの知識や経験、時間を活かし、

町内の小中学校で子ども達と一緒に過ごし、輪之内の子を育ててみませんか。

○対 象：町内在住の方、町内企業等で勤務経験のある方、NPO、民間企業、地域関係団体・機関等

○募集期間：通年

○申込方法：チラシの裏面の申込書により、窓口、郵送、FAX、電子メール、QRコードにてお申し込みください。申込書は、HPからもダウンロードできます。

○募集内容：

◎学校協働サポーター（学校行事等のサポート、それに伴う簡単な事務仕事）
学校運営側として文化祭、地域を含めた活動のお手伝い。それに伴う案内文書作成、発送等、草刈り、学校内施設整備

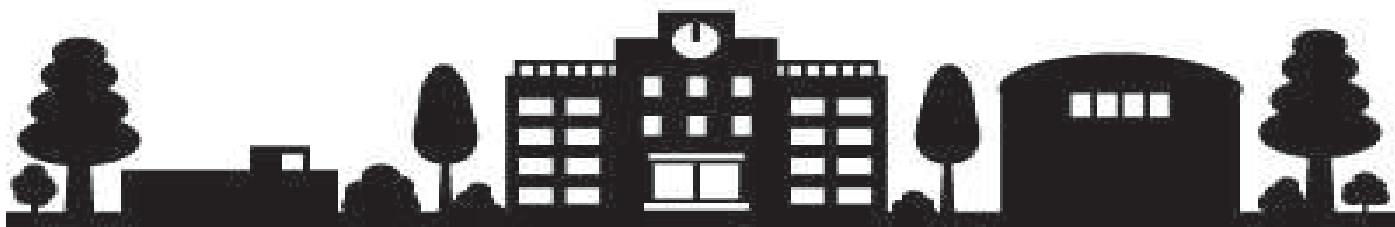
◎学校協働支援員
クラブ活動講師、裁縫指導、寺子屋指導等、地域を含めた活動の運営

○報 酬：

◎学校協働サポーター 1,100 円

◎学校協働支援員 指導なし(学生)1,100 円 指導あり 1,480 円

※輪之内町会計年度任用職員としての採用ではありません。時給制ですが、賃金ではなく、報酬としてのお支払いになります。有給休暇等の特別休暇、諸手当はありません。社会保険も加入対象にはなりません。昇給もありません。



地域学校協働活動ボランティアってどんなことをするの？

地域と学校が協力して子どもたちを育てるためのお手伝いをします。特別な資格がなくても、「こどもたちのために何かできたら」「地域の子に健やかに育ってほしい」という気持ちのある方なら活動できます。性別、年齢は問いません。

活動内容

- ① 学習支援活動……学校の授業でのサポートをします。
例：版画を彫刻刀で彫るときの見守り、調理実習の包丁使いの見守り、学校菜園の栽培・収穫、特別支援学級の実習・作業のサポートなど。
- ② 教育環境整備支援……子どもの学習環境を整えます。
例：通学路などの雪かき、花壇の花植え、グラウンドの草刈り、教材園の手入れ、図書室の本の整理、テーマ別ディスプレイの作成など
- ③ 学校行事にかかる支援……学校行事でのサポート
例：文化祭等、学校主催行事の受付や駐車場係、運営サポート、大掃除でのサポートなど。
田植え、稲刈りの指導、伝統文化の指導、待ち探検・地域学習・職場体験先の受入サポートなど。

これら以外にもボランティアの方が得なこと(わら細工、凧作り等)や、学校からの要望に応じて活動をしていきます。ご希望する活動ができない場合もありますので、あらかじめご了承ください。

お手伝いするまでの流れは？

- ① まずは、「ボランティア登録票」にて、ご登録いただきます。
- ② 学校が必要とするサポート、活動が必要となると、電話等で活動への参加が可能か確認のご連絡をいたします。
ご都合が合わなければ、断ることも可能です。
- ③ 活動が決まったら、日時や活動内容をお知らせします。
- ④ 活動を行う前に、初めての方や初めての行事の時は、学校で打ち合わせを行います。
- ⑤ 実際に活動していただきます。

登録内容について

- ・登録していただいても、ご希望に添える活動がない場合もございます。あらかじめご了承ください。
- ・登録票の内容は、地域学校協働本部事務局(輪之内町教育委員会内)が管理します。
- ・個人情報につきましては、本事業の目的のみの使用とし、適切に管理いたします。

ボランティア登録の方法

- ① 直接申込の場合
・「ボランティア登録票」に記入の上、お申し込みください。
直接申込先 輪之内町教育委員会
- ② 郵送での申込の場合
・「ボランティア登録票」に記入の上、お申し込みください。
郵送先：〒503-0212 安八郡輪之内町中郷新田1495番地
輪之内町教育委員会 地域学校協働活動担当 宛
- ③ FAX で申込する場合
・「ボランティア登録票」に記入の上、お申し込みください。
FAX 宛先：0584-69-4592 輪之内町教育委員会 地域学校協働活動担当 宛

④ メールで申込する場合

- ・件名を「地域学校協働活動 ボランティア登録」とし、記入した「ボランティア登録票」を添付の上、お申し込みください。 メール宛先 wakyo@tanpopo.ne.jp

⑤ QRコードによる申込み

- ・右記 QRコードよりお申し込みください。



地域学校協働活動の効果やメリットは？

○地域

- ・地域住民が持つ知識や技能、学びの成果が子ども達の教育活動の中で活かすことができ、生きがいや自己実現の機会となります。
- ・地域住民が学校を支援することを通して、地域の教育力が向上し、地域の活性化につながります。
- ・地域住民が子どもたちと顔の見える関係ができると、地域の中でもコミュニケーションが取れる関係となります。
- ・学校での学びを核として、保護者や地域住民のネットワークやコミュニティづくりにもつながって行き、将来的に地域づくりの担い手を育てることにもつながっていきます。

○子ども

- ・地域住民との交流を通して、様々な体験や経験の場が増え、コミュニケーション能力の向上につながり、さらに地域への理解・関心が深まります。
- ・保護者や地域住民の地域学校協働活動が進んでいる学校ほど学力が高いというデータもあります。
- ・様々な共有体験を通して、子ども達は自分を大切に思う自尊感情や、自分を好きといえる自己肯定感を高めることにつながります。